

令和3年(2021年)12月3日(金曜日)

三島駅南口 高層棟基礎、地中8メートル 市議会 一般質問 再開発事業市が見通し

三島市は2日、三島

駅南口東街区に広域健

康医療拠点や高層マン

ションを建設する再開

発事業について、地上

91メートルの高層棟を支える

地中の基礎部分が深さ

約8メートルになる見通しを

示した。基礎が深くな

れば地下水への影響も

懸念されるが、過去最

高水位になった昨年の

地下水脈にも到達しな

いとみられる。石井真

人氏(改革みしま)への

の答弁。

計画では現在の駐車

場から埋め土4メートル、溶

岩層4メートルを掘削し、建

物を面で支える直接基

礎を地中に組み込む。

建設用地は埋め土の下

に厚さ12メートルの溶岩層が

あり、建物基礎の下に

8メートルほどの溶岩が残る

に決定する予定」と述

べた。事業者の選定後

に再開発組合設立の速

やかな認可を受けられ

るよう、平行して手続

きを進めているとい

う。大石一太郎氏(政

和会)に答えた。

このほか、服部正平

(共産)、甲斐幸博(緑水

会)の両氏も登壇した。